

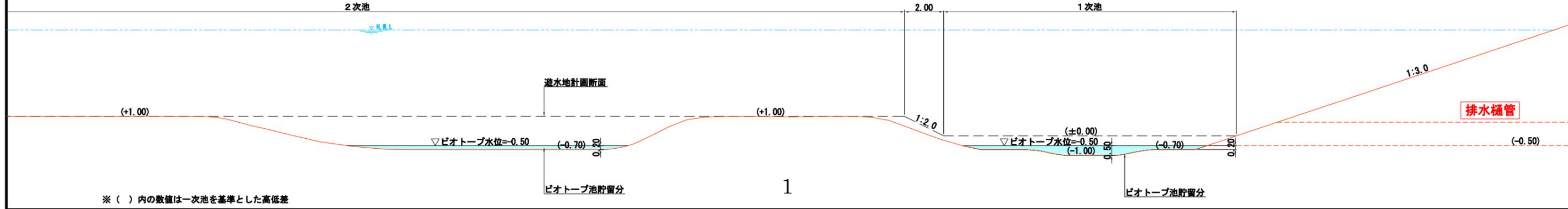
ビオトープ池 滞水量		
水深0.00~0.20	$342 \times 0.20 / 2$	= 34
水深0.20	$1745 \times 0.20$	= 349
水深0.20~0.50	$547 \times (0.2 + 0.5) / 2$	= 191
水深0.50	$833 \times 0.50$	= 417
		計 991m <sup>3</sup>

遊水地の貯留量には  
カウントされない

下土棚遊水地(B池) S=1:1000

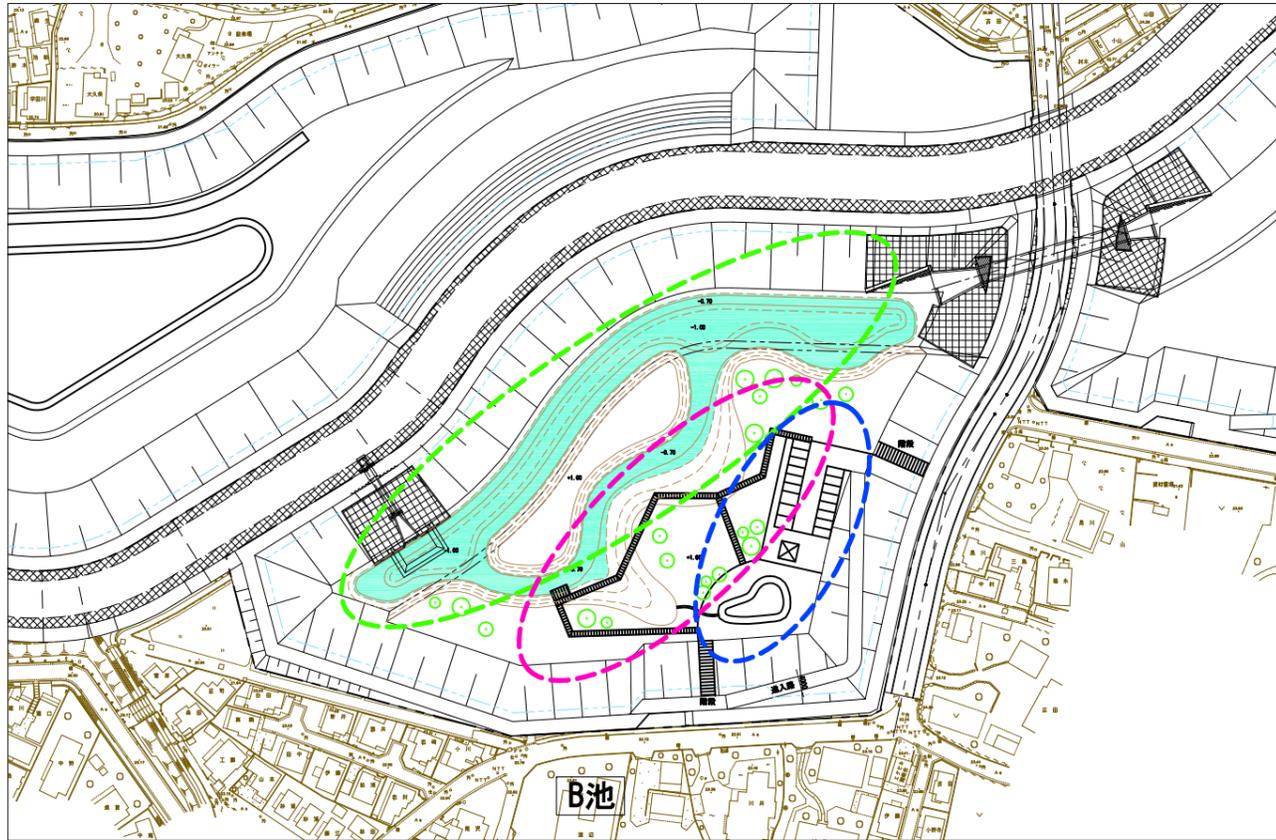
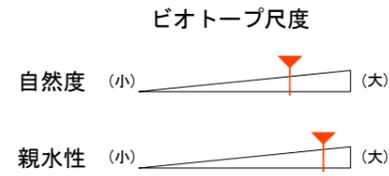
B池

B池標準断面図 S=1:200



※ ( ) 内の数値は一次池を基準とした高低差

# B池上部利用のゾーニング検討



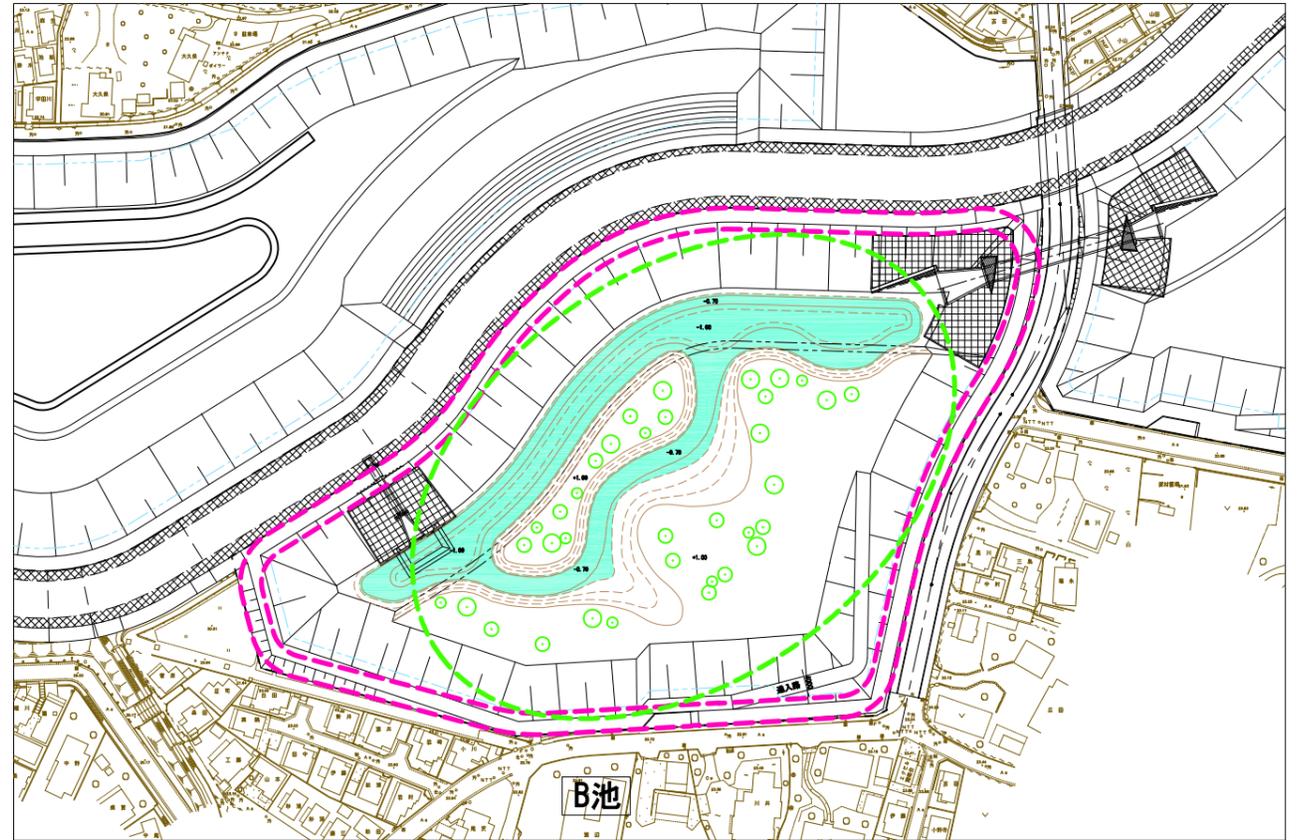
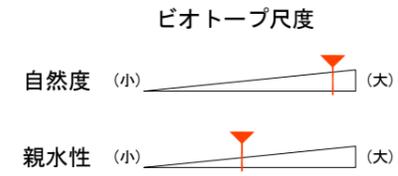
ゾーニング1案 S=1:2000



事務局案

- ゾーニングコンセプト**
- 生物生育・保護ゾーン**  
人の入り込まない空間として動・植物の生育の場とする
  - 生物ふれあい・観察ゾーン**  
エコトーンを設けて湿性植物園とし、デッキ上からの観察や岸辺での水のふれあいが可能な場とする
  - 水遊びゾーン**  
周辺からの湧水を供給し、小さな子どもが安心して遊べる場とする

**【概要】**(生物と人の触れ合い、親水性を確保)  
生物の生育・保護ゾーンと、生物の触れ合い観察ゾーン及び水遊びのできる親水ゾーンの3つのゾーンから構成する。  
※地域懇談会では、上記3つのゾーンの要望があった。



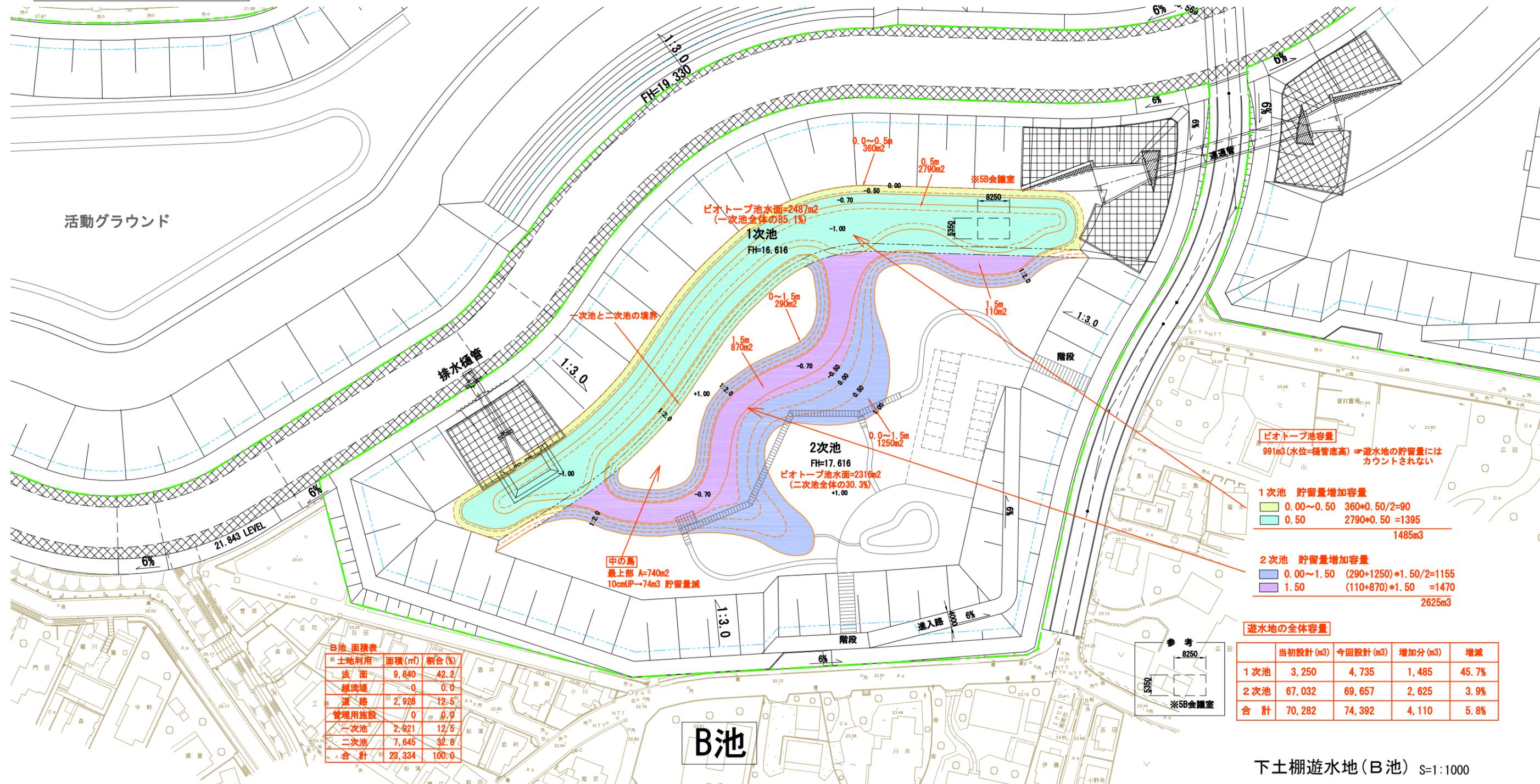
ゾーニング2案 S=1:2000



- ゾーニングコンセプト**
- 生物生育・保護ゾーン**  
通常は人の入り込まない空間として動・植物の生育の場とする
  - 生物観察ゾーン**  
外周道路からの観察を主とする

**【概要】**(生物の生育・保護を優先)  
生物の生育・保護ゾーンと、生物の触れ合い観察ゾーンから構成する。

# B池池内造成計画 (事務局案)



**B池 面積表**

土地利用	面積 (m <sup>2</sup> )	割合 (%)
法面	9,840	42.2
越流堤	0	0.0
道路	2,928	12.5
管理用施設	0	0.0
1次池	2,921	12.5
2次池	7,645	32.8
合計	23,334	100.0

**バイオトップ池容量**  
 991m<sup>3</sup>(水位=樋管底高) ※遊水地の貯留量にはカウントされない

**1次池 貯留量増加容量**

0.00~0.50	360*0.50/2=90
0.50	2790*0.50 =1395
<b>合計</b>	<b>1485m<sup>3</sup></b>

**2次池 貯留量増加容量**

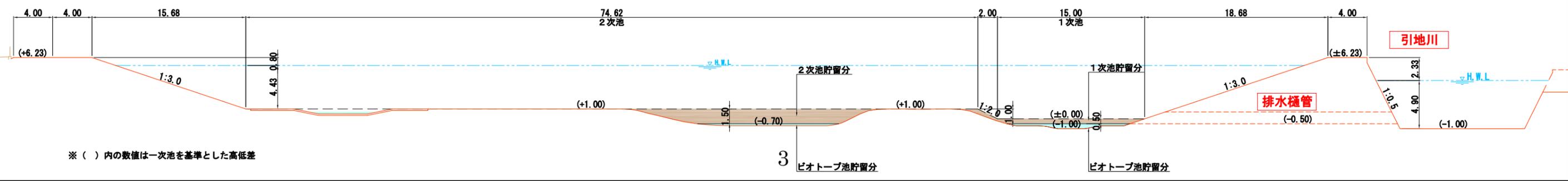
0.00~1.50	(290+1250)*1.50/2=1155
1.50	(110+870)*1.50 =1470
<b>合計</b>	<b>2625m<sup>3</sup></b>

**遊水地の全体容量**

	当初設計 (m <sup>3</sup> )	今回設計 (m <sup>3</sup> )	増加分 (m <sup>3</sup> )	増減
1次池	3,250	4,735	1,485	45.7%
2次池	67,032	69,657	2,625	3.9%
<b>合計</b>	<b>70,282</b>	<b>74,392</b>	<b>4,110</b>	<b>5.8%</b>

B池標準断面図 S=1:400

下土棚遊水地 (B池) S=1:1000



※ ( ) 内の数値は一次池を基準とした高低差

# B池の導入機能(施設)の検討 (事務局案)



B案イメージ

## 活動グラウンド



例：エコトーン(丸太)



例：エコトーン(植生護岸)①



例：エコトーン(植生護岸)②



例：ロープ柵



中の島付近のイメージ

B池標準断面図 S=1:400



エコトーンイメージ



水浴び池イメージ



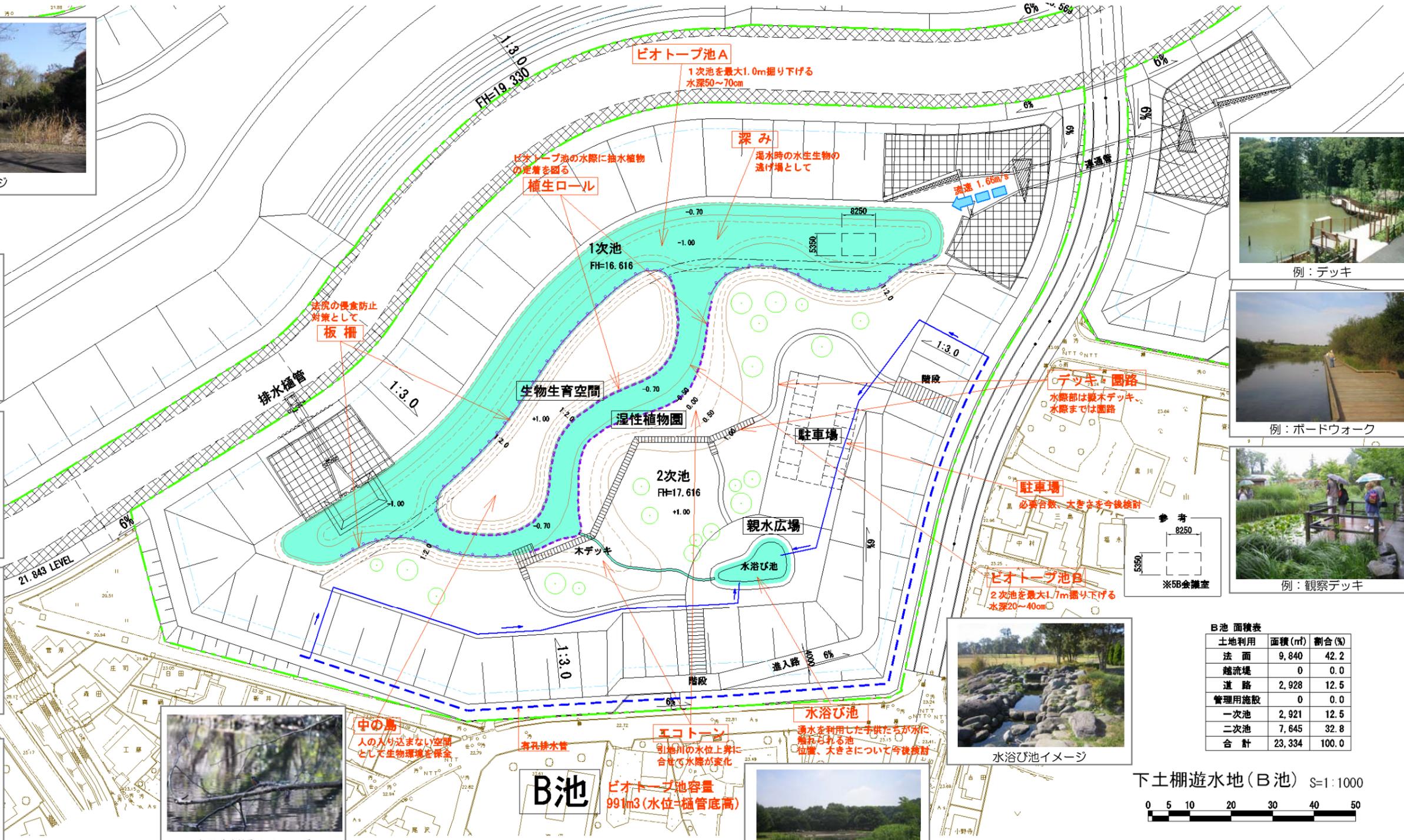
例：デッキ



例：ボードウォーク

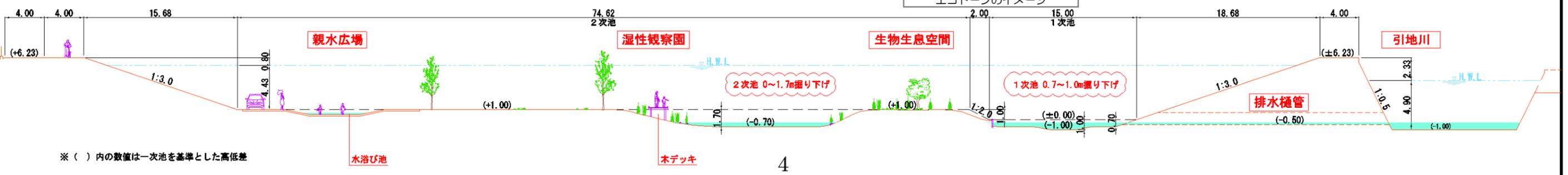
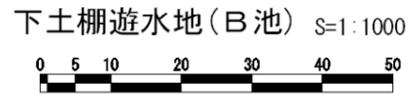


例：観察デッキ



B池 面積表

土地利用	面積 (㎡)	割合 (%)
法面	9,840	42.2
越流堤	0	0.0
道路	2,928	12.5
管理用施設	0	0.0
一次池	2,921	12.5
二次池	7,645	32.8
合計	23,334	100.0



※ ( ) 内の数値は一次池を基準とした高低差